



3月13日講演会感想文

参加者 O・Mさん

今回初めて、貴センターの講演会に参加させていただきました。参加した理由は、私自身も親の介護をしており、また、これからの高齢化社会を迎えて、今後の社会保障に興味があったからです。

結城先生のご発言で印象に残ったのは、「国庫負担金など紐付きの福祉と医療のお金が全部交付税に回されて、自治体の好きに使ってくださいということになったら、福祉の水準は守られるでしょうか。恐らく財政力が豊かな自治体は守ることもできるでしょうが、サービスを切り下げる自治体も多く出てくることでしょう。」や、福祉制度について「日本も満更捨てたものではありません。日本にも良いところがたくさんあります。ですから、スウェーデンは素晴らしい、ドイツは素晴らしい、とただ言うばかりではなく、それぞれの良いところを取り込んで日本オリジナルの

福祉国家を作っていくことが大事です。」や、「民主党に今一番欠けているのは、長期的なビジョンで何をしたいのか、ということです。社会保障制度も、現物給付型なのか、現金給付型なのか、あるいは、租税の問題、負担の問題もありますが、それらの点も踏まえて、それから地方分権の話もどうなのかということも踏まえて、早急に明らかにしていけない。」などです。

福祉は身近な問題であるものの、国政のありかたによって左右されたり、数十年スパンで考えなくてはいけなかったりと難しいと思いました。これをきっかけに自分でも勉強していきたいと思います。

また、機会があれば貴センターの講座に参加させて頂きたいと思います。今後も有益な講演会を低廉な価格で実施して頂ければと思います。